

全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

2007年11週

- 発生動向の概況
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数
  - 男女別
  - 推移グラフ
  - 保健所別
  - 保健所別(定点当たり)
  - 年齢階級別
- 病原体・抗体検査情報
  - 週別検出状況
  - 臨床診断名別検出結果
- 定点医療機関からのコメント
- 感染症豆知識「梅毒様疾患」

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

e-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



# 全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

## 発生動向の概況 《2007年11週》

### (全数把握対象疾患)

区分	疾患	報告 件数	情 報 (検出病原体・血清型・推定感染経路等)	推定感染地
二類	細菌性赤痢	2	ソネ菌	国内、バリ島
三類	腸管出血性 大腸菌感染症	1	O157 VT1・VT2 推定感染経路:経口感染	国内
四類	オウム病	1	分離・同定による病原体の検出 推定感染経路:鳥類からの感染	国内
	レジオネラ症	1	肺炎型 推定感染経路:不明	中国
五類	アメーバ赤痢	2	腸管アメーバ症1件、腸管外アメーバ症1件 推定感染経路:性的接触(異性間)1件、 不明1件	国内
	後天性免疫 不全症候群	4	無症候性キャリア 4件 推定感染経路:性的接触3件(同性間2件、 異性間1件)、不明1件	国内2件、 中国1件、 タイ1件
	梅毒	1	病型: 晩期顕症梅毒 症状: 神経症状 推定感染経路:不明	国内

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

### (定点把握対象疾患 ー小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点ー)

- ・インフルエンザの定点当たり報告数は横ばいであった。
- ・基幹定点の一医療機関から成人麻しんの報告が5件あった。

※ 定点医療機関からのコメントは16ページをご覧ください。

(検査情報)

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法	
インフルエンザ	6	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1	遺伝子	
インフルエンザ	13	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3		
インフルエンザ	21	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3		
インフルエンザ	26	鼻汁	インフルエンザウイルスAH3		
インフルエンザ	39	剖検材料	インフルエンザウイルスAH3		
インフルエンザ	40	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3		
インフルエンザ	48	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3		
インフルエンザ	55	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3		
インフルエンザ	6	鼻汁	インフルエンザウイルスB型、エンテロウイルス		
インフルエンザ	14	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型		
インフルエンザ	14	鼻汁	インフルエンザウイルスB型		
インフルエンザ	10	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型		
インフルエンザ	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス、ヒトヘルペスウイルス6型		
急性咽頭炎	12	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3		
急性咽頭炎	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス、ヒトヘルペスウイルス6型		
肺炎	7	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型		
急性肺炎	6	咽頭拭い液	マイコプラズマ・ニューモニア		
不明発しん症	1		ヒトヘルペスウイルス6型		
突発しん	1	咽頭拭い液	EBウイルス		
EBウイルス感染症	4	咽頭拭い液	EBウイルス		
耳下腺炎	12	咽頭拭い液	EBウイルス		
貧血、溶連菌感染症	8	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、ヒトヘルペスウイルス7型、EBウイルス		
けいれん	10M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型		
胃腸炎、熱性けいれん	1	直腸拭い液	麻しん		
急性胃腸炎	1	直腸拭い液	ロタウイルス		
熱性けいれん	3	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型		分離
		鼻汁	ヒトヘルペスウイルス6型		
腸チフス	30	菌株(糞便由来)	チフス菌		同定
細菌性赤痢	11	菌株(糞便由来)	赤痢菌(ボイド2型)		
細菌性赤痢	27	菌株(糞便由来)	赤痢菌(ソネ)		

ウイルス性胃腸炎(集団事例)検査情報

検査区分	検査試料数	陽性数	ノロウイルス			サポウイルス	ロタウイルス
			G I	G II	G I + G II		
施設内感染疑いまたは食中毒等	88	47	5	41	0	0	1

## 全数把握対象疾患 患者報告数 2007年11週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		8週	9週	10週	11週	年累計	11週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ							3
	細菌性赤痢		3		2	17	6	103
	ジフテリア							
	腸チフス		1			1	1	7
	パラチフス					2		4
三類	腸管出血性大腸菌感染症				1	4	8	144
四類	E型肝炎					1	1	12
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1				7	1	36
	エキノкокクス症					1		4
	黄熱							
	オウム病				1	1	1	6
	回帰熱							
	Q熱							3
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症					1		1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病					2		37
	デング熱			1		1		9
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							1
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症							
	発しんチフス							
ボツリヌス症							1	
マラリア					2		5	
野兎症								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症				1	3	4	77	
レプトスピラ症							1	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	5	3	2	35	10	151
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	1		2		9		29
	急性脳炎						5	45
	クリプトスポリジウム症							1
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1		2	4	34
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	1		2		25
	後天性免疫不全症候群	12	8	14	4	96	8	249
	ジアルジア症					3		8
	髄膜炎 菌性髄膜炎						1	2
	先天性風しん症候群							
	梅毒		4	2	1	17	9	99
	破傷風						1	11
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1	1		5	1	18

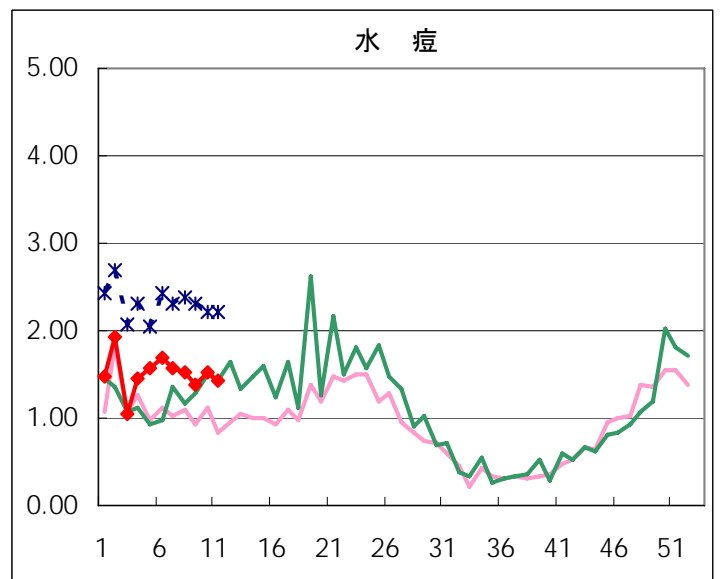
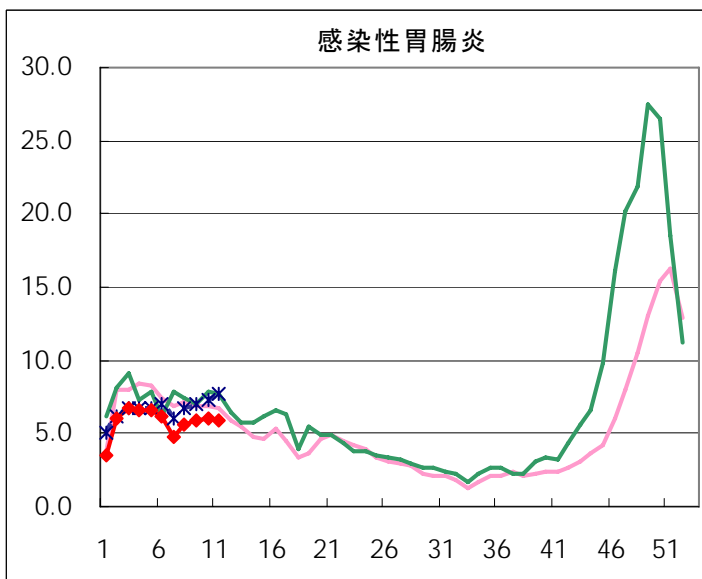
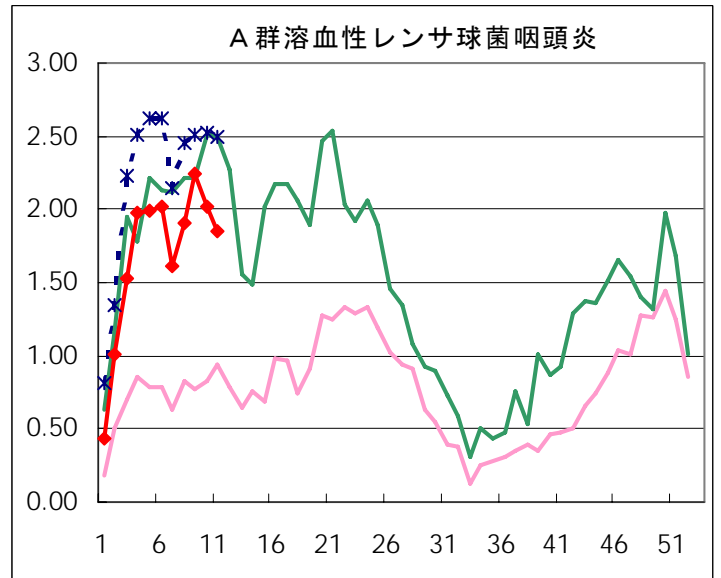
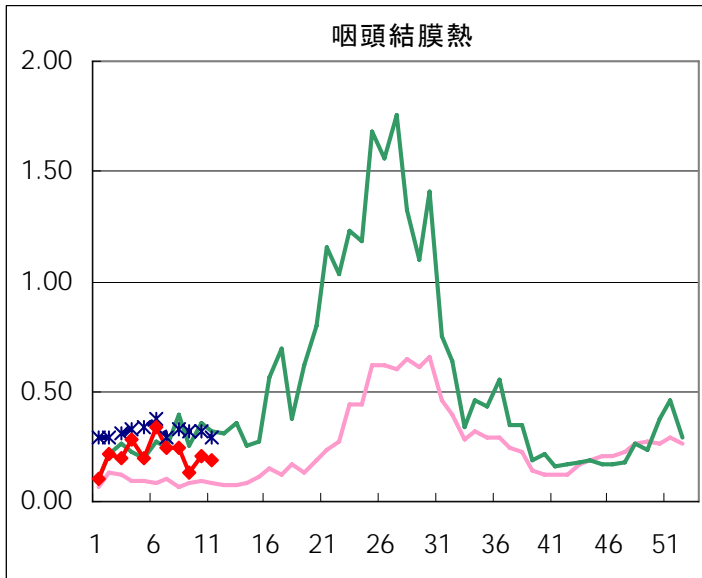
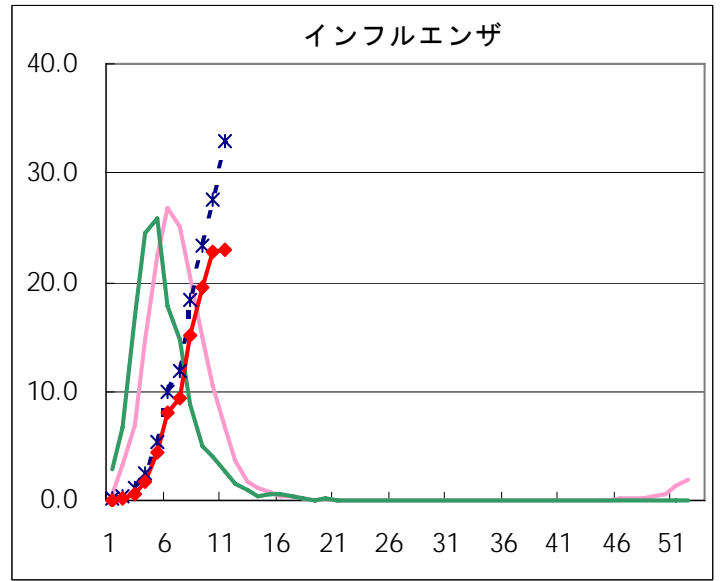
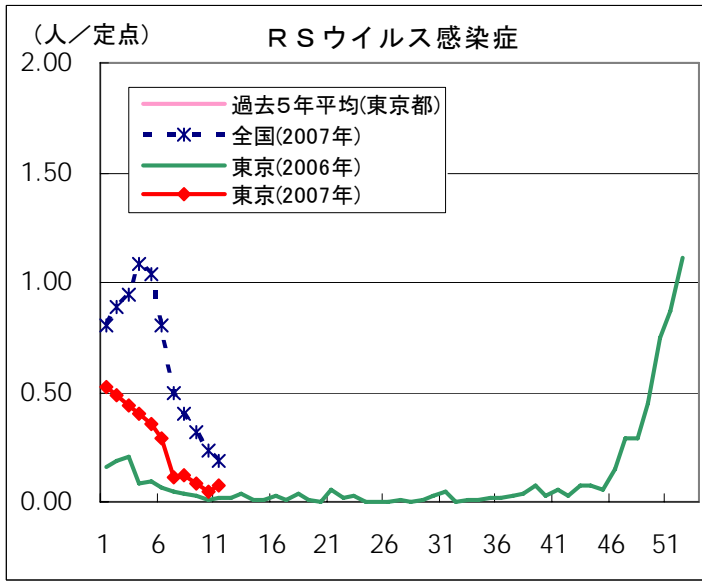
2007/3/20集計

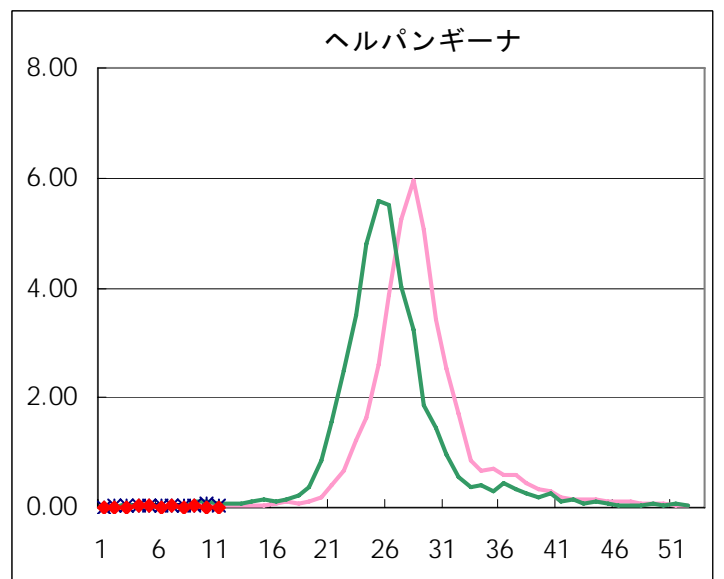
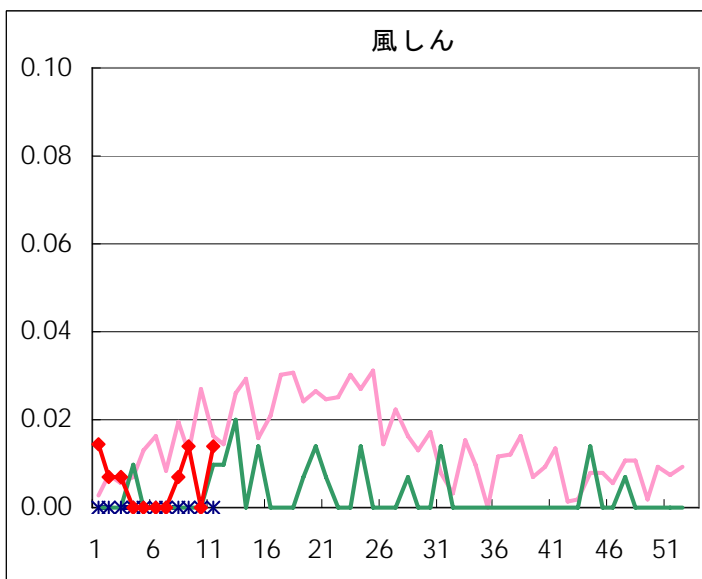
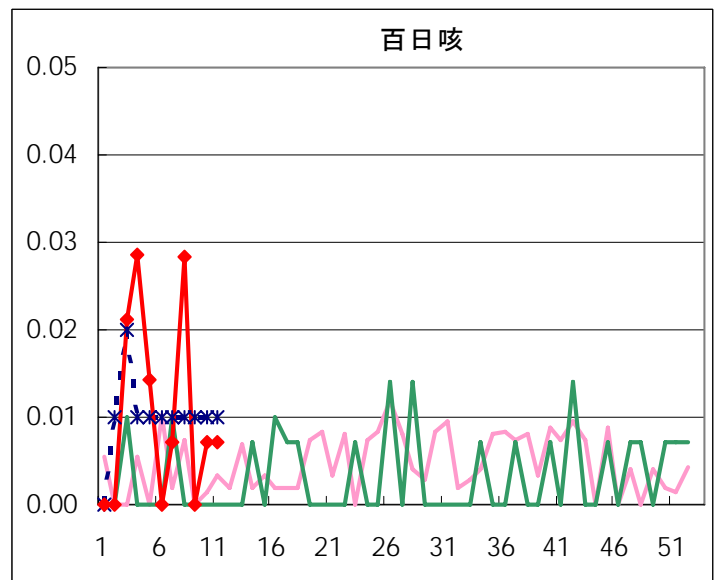
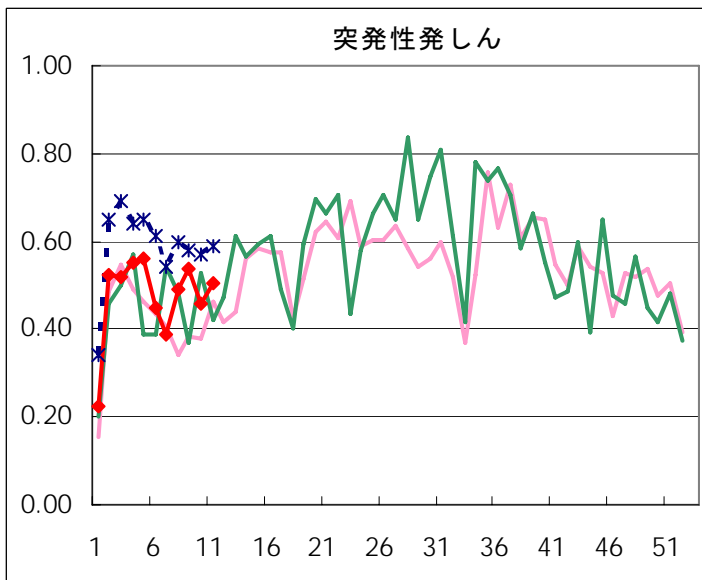
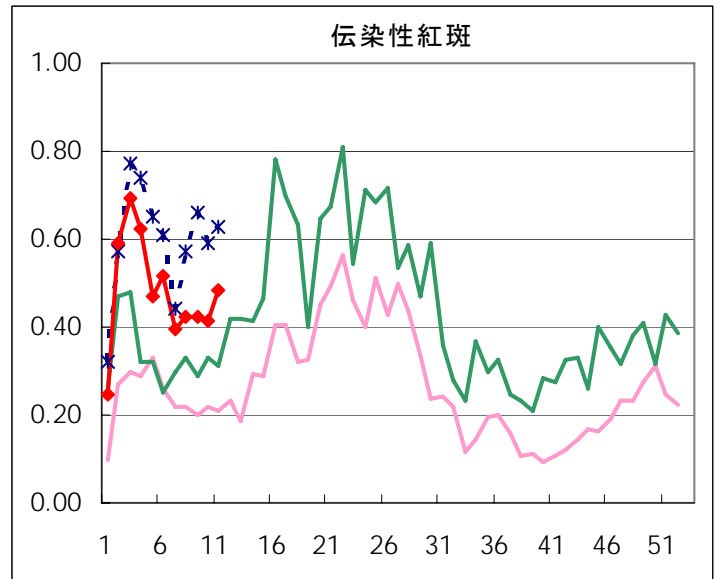
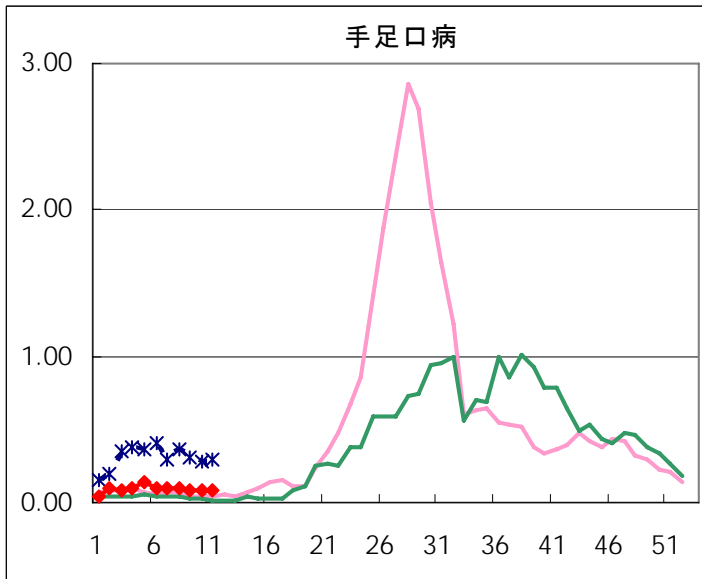
## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2007年11週

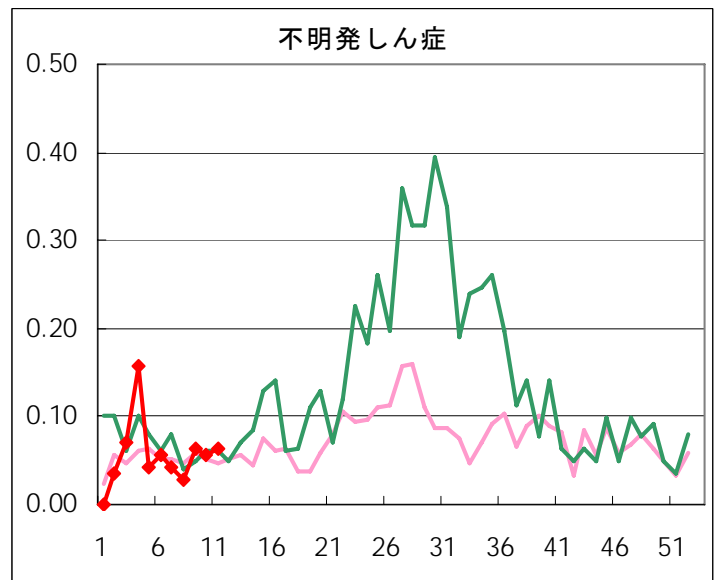
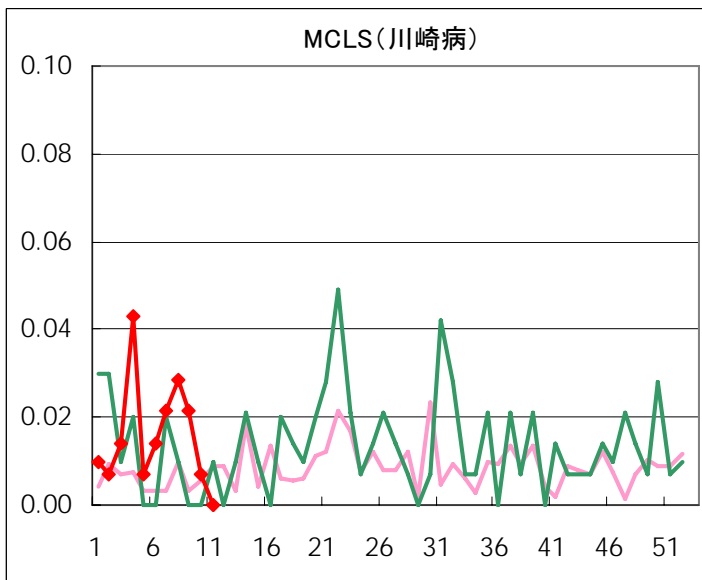
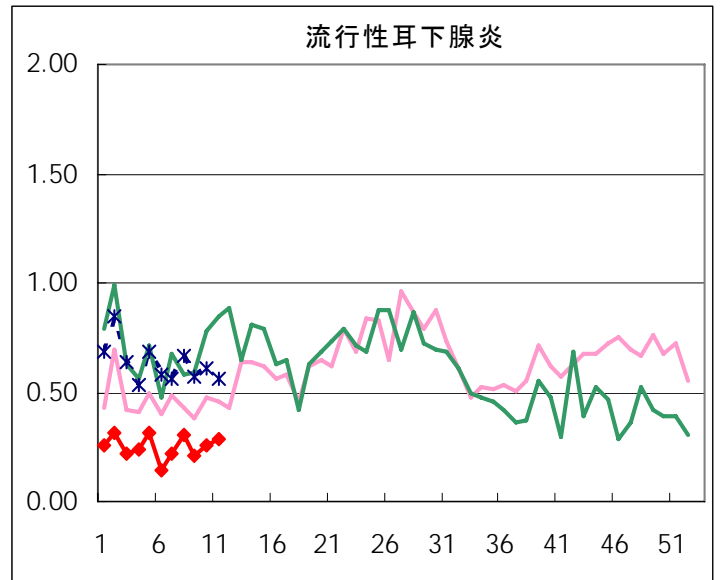
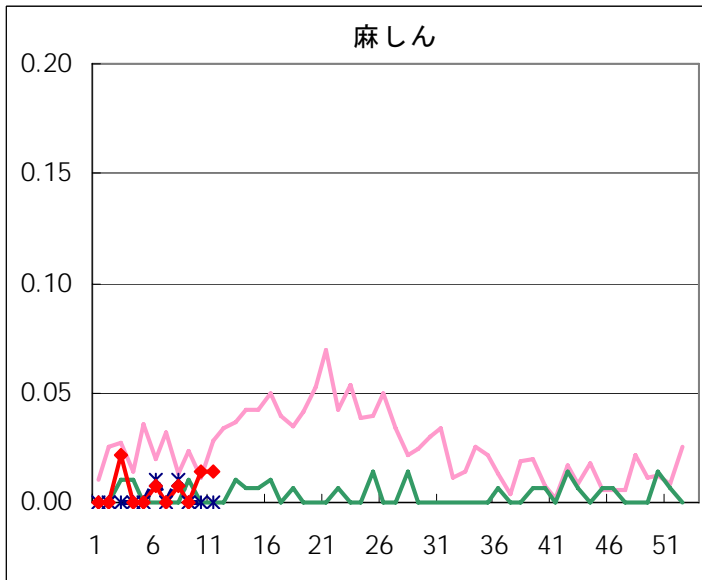
疾病名	性	2007年				4週合計	年累計
		8	9	10	11		
RSウイルス感染症	男	8	9	3	5	25	214
	女	9	3	4	5	21	196
インフルエンザ	男	2,211	2,737	3,165	3,275	11,388	14,868
	女	2,045	2,733	3,221	3,188	11,187	14,520
咽頭結膜熱	男	17	11	16	10	54	168
	女	18	7	14	17	56	162
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	141	187	132	133	593	1,377
	女	127	130	154	127	538	1,238
感染性胃腸炎	男	424	391	454	431	1,700	4,529
	女	358	449	396	405	1,608	4,444
水痘	男	117	106	102	106	431	1,198
	女	99	90	114	96	399	1,137
手足口病	男	5	6	6	4	21	62
	女	8	5	5	7	25	74
伝染性紅斑	男	32	33	32	35	132	381
	女	28	27	27	33	115	363
突発性発しん	男	37	41	31	39	148	370
	女	32	35	34	32	133	362
百日咳	男	1		1		2	7
	女	3			1	4	9
風しん	男		1			1	2
	女	1	1		2	4	7
ヘルパンギーナ	男		2	1	1	4	16
	女	1	1	1	1	4	10
麻しん(成人麻しんを除く)	男	1		1	1	3	3
	女			1	1	2	6
流行性耳下腺炎	男	25	14	19	16	74	215
	女	18	16	18	24	76	173
不明発しん症	男	1	5	3	5	14	43
	女	3	4	5	4	16	44
MCLS	男	1	1	1		3	13
	女	3	2			5	12
急性出血性結膜炎	男						
	女						
流行性角結膜炎	男	11	7	9	3	30	80
	女	9	4	1	6	20	47
細菌性髄膜炎	男						2
	女						1
無菌性髄膜炎	男	1				1	4
	女	1	1			2	2
マイコプラズマ肺炎	男		2		1	3	19
	女	2				2	10
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男		1			1	1
	女						
成人麻しん	男				4	4	5
	女				1	1	1

# 五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2007年11週現在

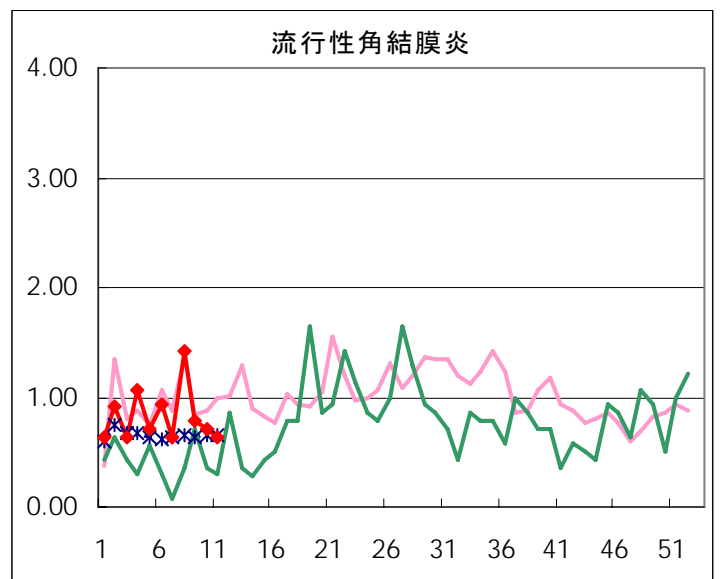
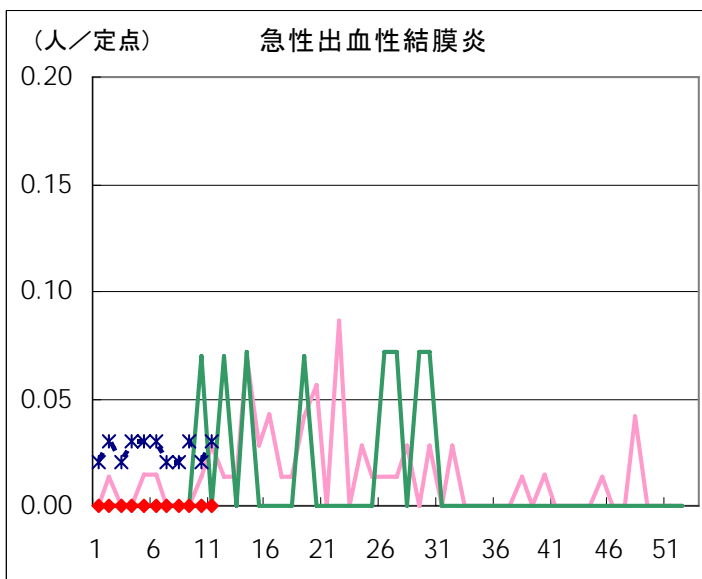
## ◆ 小児科・インフルエンザ定点





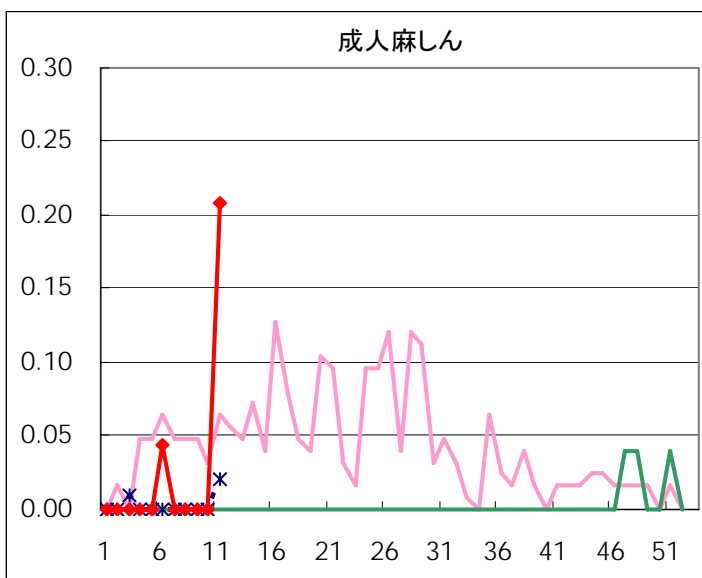
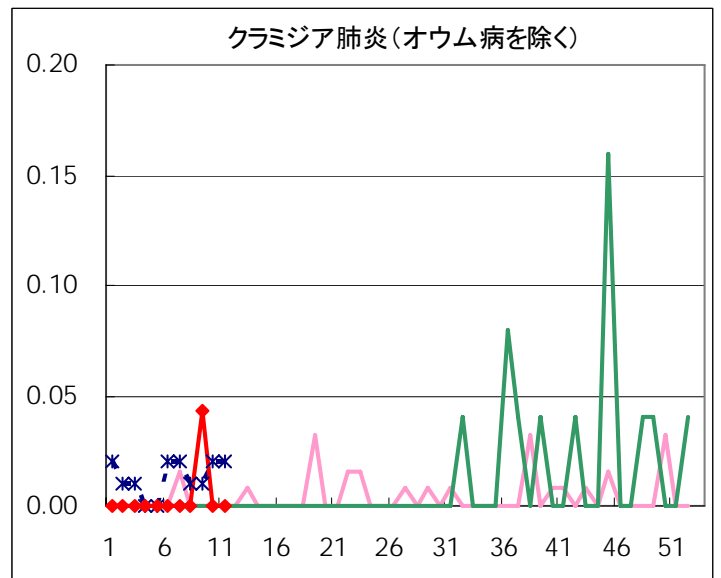
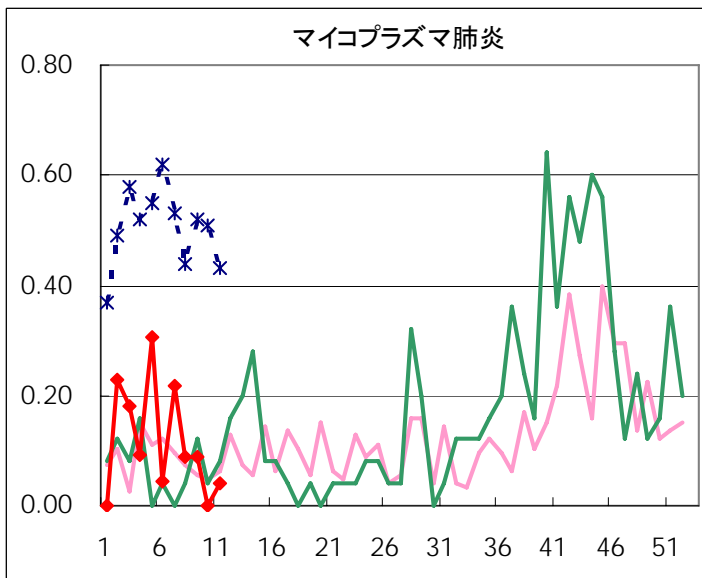
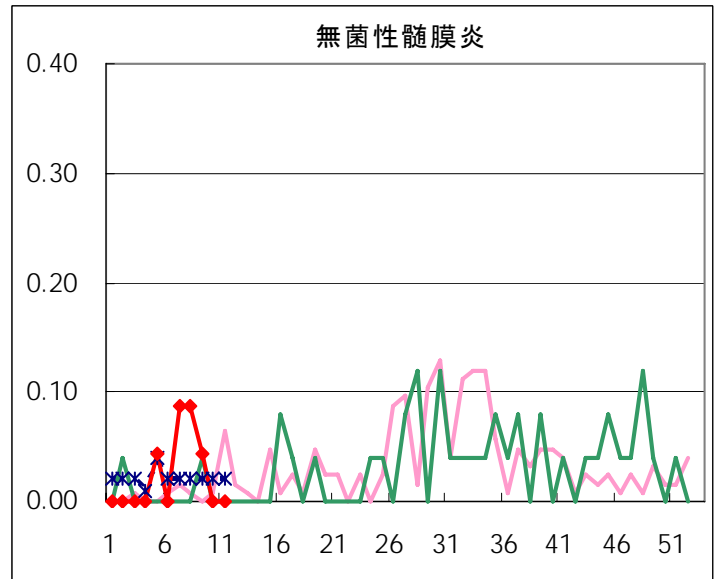
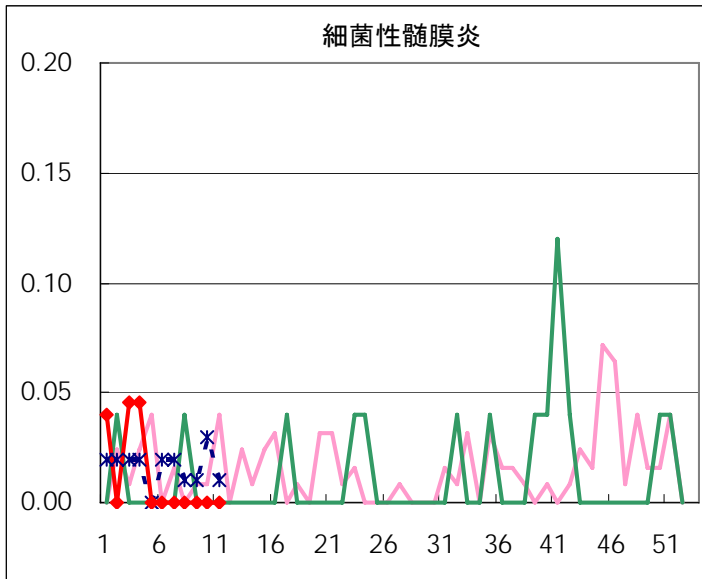


◆ 眼科定点





◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)			
定点種別	疾患	定点医療機関数	報告機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	282	281
眼科	急性出血性結膜炎	14	14
	流行性角結膜炎		
基幹	細菌性髄膜炎	25	24
	無菌性髄膜炎		
	マイコプラズマ肺炎		
	クラミジア肺炎		
	成人麻しん		
小児科	上記を除く疾病	142	141

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2007年11週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田		27	1	2	1	4				
中央区		65		4	5	5		1		
みなと	2	182	9	19	44	9		1	3	
新宿区		139		4	17	2			1	1
文京		105		4	12	1				
台東		108	1	11	21	9	1	1	1	
墨田区		183		7	12	10		2	5	
江東区		207		9	42	8	1	1	3	
品川区		180		9	45	4		1	5	
目黒区		49		1	5	8		4	1	
大田区	2	460	2	33	73	6	1	5	5	
世田谷		420	2	14	47	22	1	6	5	
渋谷区		103	1	3	27	5		6	4	
中野区		166		5	42	11	1		3	
杉並	2	311		12	45	10		1	4	
池袋		88			1	2		2	2	
北区		192	1	2	20	6	5	1	4	
荒川区		96	2	2	20	8		2	2	
板橋区		176		3	22	1		2		
練馬区		251	1	8	21	5		7	2	
足立		218			23	2	1			
葛飾区		267		6	27	9		5		
江戸川	2	303		18	27	4		2	3	
西多摩	2	288		4	25	9		3	5	
八王子		215		10	11	4		2	3	
南多摩		205		25	21	6		2		
町田		190		16	45	12		4		
多摩立川		225			4	2			1	
多摩府中		509		5	54	4		3	4	
多摩小平		525	7	24	77	14		4	5	
島しょ		10								

東京都合計	10	6,463	27	260	836	202	11	68	71	1
定点当り報告数	0.07	23.00	0.19	1.84	5.93	1.43	0.08	0.48	0.50	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2007年11週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田									35
中央区				1					81
みなと				3		3			275
新宿区						2	1		167
文京				1		3			126
台東									153
墨田区									219
江東区				1			1		273
品川区				1					245
目黒区				1					69
大田区			1	2			1		591
世田谷				3					520
渋谷区									149
中野区									228
杉並				1					386
池袋									95
北区									231
荒川区									132
板橋区	1			1					206
練馬区				1			1		297
足立									244
葛飾区				4			1		319
江戸川				2					361
西多摩	1								337
八王子				2			1		248
南多摩		1							260
町田				4		1	2		274
多摩立川		1							233
多摩府中				10					589
多摩小平			1	2			1		660
島しょ									10

東京都合計	2	2	2	40	-	9	9	-	8,013
定点当り報告数	0.01	0.01	0.01	0.28	-	0.64	0.06	-	

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2007年11週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田		5.40	0.25	0.50	0.25	1.00				
中央区		16.25		1.33	1.67	1.67		0.33		
みなと	0.33	22.75	1.50	3.17	7.33	1.50		0.17	0.50	
新宿区		15.44		0.67	2.83	0.33			0.17	0.17
文京		21.00		1.33	4.00	0.33				
台東		21.60	0.33	3.67	7.00	3.00	0.33	0.33	0.33	
墨田区		30.50		2.33	4.00	3.33		0.67	1.67	
江東区		25.88		3.00	14.00	2.67	0.33	0.33	1.00	
品川区		18.00		1.50	7.50	0.67		0.17	0.83	
目黒区		8.17		0.33	1.67	2.67		1.33	0.33	
大田区	0.22	28.75	0.22	3.67	8.11	0.67	0.11	0.56	0.56	
世田谷		26.25	0.25	1.75	5.88	2.75	0.13	0.75	0.63	
渋谷区		17.17	0.25	0.75	6.75	1.25		1.50	1.00	
中野区		18.44		0.83	7.00	1.83	0.17		0.50	
杉並	0.33	25.92		2.00	7.50	1.67		0.17	0.67	
池袋		11.00			0.20	0.40		0.40	0.40	
北区		24.00	0.25	0.50	5.00	1.50	1.25	0.25	1.00	
荒川区		24.00	1.00	1.00	10.00	4.00		1.00	1.00	
板橋区		14.67		0.50	3.67	0.17		0.33		
練馬区		20.92	0.20	1.60	4.20	1.00		1.40	0.40	
足立		21.80			7.67	0.67	0.33			
葛飾区		29.67		1.50	6.75	2.25		1.25		
江戸川	0.50	27.55		4.50	6.75	1.00		0.50	0.75	
西多摩	0.40	32.00		0.80	5.00	1.80		0.60	1.00	
八王子		26.88		5.00	5.50	2.00		1.00	1.50	
南多摩		25.63		8.33	7.00	2.00		0.67		
町田		27.14		8.00	22.50	6.00		2.00		
多摩立川		17.31			0.67	0.33			0.17	
多摩府中		24.24		0.50	5.40	0.40		0.30	0.40	
多摩小平		37.50	1.17	4.00	12.83	2.33		0.67	0.83	
島しょ		5.00								

東京都合計	10	6,463	27	260	836	202	11	68	71	1
定点当り報告数	0.07	23.00	0.19	1.84	5.93	1.43	0.08	0.48	0.50	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2007年11週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田								
中央区				0.33				
みなと				0.50		3.00		
新宿区						1.00	0.17	
文京				0.33		3.00		
台東								
墨田区								
江東区				0.33			0.33	
品川区				0.17				
目黒区				0.33				
大田区			0.11	0.22			0.11	
世田谷				0.38				
渋谷区								
中野区								
杉並				0.17				
池袋								
北区								
荒川区								
板橋区	0.17			0.17				
練馬区				0.20			0.20	
足立								
葛飾区				1.00			0.25	
江戸川				0.50				
西多摩	0.20							
八王子				1.00			0.50	
南多摩		0.33						
町田				2.00		1.00	1.00	
多摩立川		0.17						
多摩府中				1.00				
多摩小平			0.17	0.33			0.17	
島しょ								

東京都合計	2	2	2	40	-	9	9	-
定点当り報告数	0.01	0.01	0.01	0.28	-	0.64	0.06	-

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2007年11週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～5か月	3	11			7			1	1
～11か月	1	38	2		52	5		6	26
1歳	2	174	5	3	143	33	2	3	43
2歳	1	181	4	6	93	24	6	3	
3歳		243		19	75	32	1	8	1
4歳		319	1	29	69	40	1	10	
5歳		369	4	36	65	23	1	13	
6歳		438	2	33	44	22		5	
7歳		480	3	30	47	7		12	
8歳		458	3	24	41	8		1	
9歳		390		16	22	2		2	
10～14歳		1488	1	37	62	4		2	
15～19歳		373		6	9				
20～29歳	3	370	2	21	107	2		2	
30～39歳		498							
40～49歳		320							
50～59歳		153							
60～69歳		88							
70～79歳		46							
80歳以上		26							
合計	10	6,463	27	260	836	202	11	68	71
先週比	3	77	-3	-26	-14	-14	0	9	6

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～5か月									
～11か月		1			1			3	
1歳		1		1	3			2	
2歳			1		4		1	1	
3歳					7			1	
4歳				1	2			1	
5歳					6				
6歳					3				
7歳					2				
8歳					5				
9歳					3				
10～14歳			1		2				
15～19歳									
20～29歳	1				2			1	
30～39歳							1		
40～49歳							6		
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳							1		
80歳以上									
合計	1	2	2	2	40	-	9	9	-
先週比	0	2	0	0	3	0	-1	1	-1

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

# 病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2007年4週～11週

検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2006年								
		4	5	6	7	8	9	10	11	
ウイルス	アデノ	6	5	6	3	3	6	7		36
	ライノ	1		1				4		6
	ポリオ				1					1
	コクサッキーA群									
	コクサッキーB群									
	エコー									
	エンテロ71									
	その他のエンテロ				1		2		3	6
	単純ヘルペス						1	1		2
	水痘・帯状疱疹		2			2				4
	ヘルペス6/7	1	3	1	3	2	5	7	6	28
	EB		1	1	1	4	1	2	4	14
	サイトメガロ		1		1					2
	ムンプス	1						1		2
	麻疹								1	1
	風しん									
	パルボB19		1		1					2
	RS	1	1		1					3
	ノロ	21	74	48	39	41	58	73	46	400
	ロタ		3	5	2		2	1	2	15
インフルエンザAH1	2	1	3	1			3	1	11	
インフルエンザAH3	1	17	26	11	3	11	19	8	96	
インフルエンザB		3	6	2	2	4	11	5	33	
デング				1					1	
その他のウイルス										
細菌	カンピロバクター									
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌									
	その他の腸管系病原菌			1		2		3	6	
	溶血性レンサ球菌		1				1		2	
	MRSA									
	MSSA									
	その他の細菌									
その他の病原体	1		1				1	1	4	

臨床診断名別検出結果 2007年4週～11週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	合計
搬入検体数	191	22	30	1393	19	1	6	2	1	1	3	23	3	6			116	
アデノ	4	5	3	4		1		3	1			4	1				10	36
ライノ			1	1	1							2					1	6
ポリオ												1						1
コクサッキーA群																		
コクサッキーB群																		
エコー																		
エンテロ71																		
その他のエンテロ	2	1							1		1						1	6
単純ヘルペス	1								1									2
水痘・帯状疱疹														4				4
ヘルペス6/7	4	1		1	2		1	1			8						10	28
EB							1				1	2	2				8	14
サイトメガロ																	2	2
ムンプス					1								1					2
麻疹				1														1
風しん																		
パルボB19											2							2
RS	1		2															3
ノロ			39	360								1						400
ロタ			1	13													1	15
インフルエンザAH1	8	1	1														1	11
インフルエンザAH3	93	1	1														1	96
インフルエンザB	29		2														2	33
カンピロバクター																		
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																		
その他の腸管系病原菌				1													5	6
溶血性レンサ球菌							1										1	2
その他の病原体			3														2	5
備考	この表の「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」と「その他の病原体」の合計である。																	



## 定点医療機関からのコメント

### ◇インフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果に関わるコメントを多くいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関から報告のあった患者に関するコメント
	A	B	
台東	13	28	
目黒区	4	9	
	1	1	
	5	15	
大田区	9	25	
	7	12	
	3	9	
	12	23	
	6	5	
	8	31	
世田谷	24	31	A型の4人は1～5歳 その他11名。B型14歳男子1名は、溶血性レンサ球菌の合併
	4	6	
	8	10	
	8	13	
	3	6	
	1		
	28	44	
中野区	7	12	B型のうち2名は先月A型に罹患しています。  寒さが戻ったせいか、ダラダラと流行が続いています。
	28	41	
	5	1	
北区	24	27	
	4	5	
	2	3	
	1	2	
練馬区	7	3	
	10	9	
足立	11	19	
	24	31	不明7名
西多摩	7		
	2	10	その他16名。B型が検出された2名が通学している学校では学級閉鎖があった。
八王子	1	1	
	1		
	10	10	その他3名は症状より診断
	7	4	
	22	12	その他2名は症状より診断
多摩立川	6	2	その他の患者6名
	23	10	
多摩府中	6	1	先週より患者が増えておりまだピークとはいえないようです。B型が圧倒的に多くなりました。
	3	12	
	12	22	
多摩小平	11	4	その他10名
	14	2	
	29	27	
	25	19	
	32	47	
	11	24	
	23	14	今が当地域のピークのようです。B型が増えています(8割位)。

### ◇その他の疾患に関するコメント

世田谷保健所管内定点医療機関

流行性耳下腺炎3名(2歳、8歳、20歳以上男性)は、家族感染です。

## <感染症豆知識>

### 梅毒様疾患

梅毒は梅毒トレポネーマ (*Treponema pallidum*, TP) による全身性の慢性感染症で五類感染症の全数把握（七日以内に届出）の疾患である。顕症梅毒と症状は認められないが、梅毒血清反応が陽性である無症候梅毒、先天性梅毒に分けられる。

#### 顕症梅毒

第1期梅毒：感染後3週間で感染局所（大小陰唇、冠状溝など陰茎）に初期硬結、硬性下疳（単発が多い）や無痛性横痃をつくる。

第2期梅毒：3ヵ月後に皮膚、粘膜の発疹や臓器梅毒の症状がみられるものである。発疹は多数で梅毒性バラ疹が代表で、他に乾癬、扁平コンジローマ（尖圭コンジローマとの鑑別が大事）、脱毛などがある。

他に第3期梅毒（感染後3年以上経過後のゴム腫形成など）、第4期梅毒（心血管梅毒、神経梅毒）は現在殆どみられない。

梅毒の診断は感染機会後4週以上の経過後の血清反応（STS法）とTP抗原法でなされる（1期梅毒、梅毒疹ではパーカーインク法も試みられる）。

#### 無症候梅毒

初感染後全く症状を呈さない場合や陳旧性梅毒（治療を要しないものも多い）であるが、STSで16倍以上陽性かつTP抗原法が陽性の場合、治療が望ましい。

#### 先天梅毒

経胎盤感染によるが梅毒疹、骨軟骨炎などの症状、所見を呈する症例は現在殆どみられない。

#### 治療

ペニシリンが第一選択薬で経口ペニシリン薬を第1期で2～4週間、第2期で4～8週間投与する。

（文責 （財）性の健康医学財団 理事長 松田静治）